

図書館 だより

No.76



2008.10

Fuji Women's University Library

音読の勧め

文学部英語文化学科 平松哲司

私はシェイクスピアをやっているせいもあって昔から声に出して言葉を読むのが好きです。シェイクスピアに限らず、エリザベス朝の劇作家の作品はできるだけ声に出して読むよう心がけています。シェイクスピアはお芝居ですから当然役者の肉体や声なくして「テキスト」のみでは存在しません。かつてのNew Criticismはここを全く無視してシェイクスピアを舞台言語と切り離して純粋な「詩」として位置づけるという過ちを犯しました。その反動として70年代以降の「ドラマとしてのシェイクスピア批評」の流れが生まれたのです。舞台の現場の生の体験を語るディレクターや役者がアカデミズムの世界と連繋するという好ましい、当たりまえと言えば当たりまえの関係が生まれたのです。

よく学生に言うのですがシェイクスピアは「唯脳論」的知的理解も大事なのですが、「体育会系」の要素も大きいのです。演技しなくてはならない、体を動かさなければならぬ、ということもあるのですが、プロの役者ではない我々にとってそれはちょっと無理な要求です。ここでいう「体育会系」というのは声に出すということなのです。

声を出すということは人間にとって根源的な行動です。進化論的に言っても人間の脳の形成上「声」はとても重要な役割を担っています。「声を出す」と言えば、



今日の私たちはまず言葉を話すことと歌をうたうことを想起します。この言葉と歌（あるいは音楽）の関係は進化心理学（Evolutionary Psychology）の観点からは大いに議論があるところですが、まず始めに無意味な「アー」とか「ウー」とかいう音があったと想像することは素人にも難しくありません。それらの音がつながり、イントネーションができ、リズムが生まれ、音楽と言えれば音楽とも言える、言葉と言えれば言葉とも言える、しかし厳密に言えばそのどちらでもない、ちょうどそのはざまの、薄曇りのような曖昧模糊とした状態が次に続いたのではないのでしょうか。なぜそんな状態があったかということ、一番単純な説明はそれが快かったということにつきますでしょう。複雑な音を出せるまで進化した声帯の微妙な震えが生み出す音、そしてそれをコントロールできることの楽しさに人間が気がついたのです。その声が外界や他の人間に響いて伝わってなんらかのインパクトを与えることに原始人は新鮮な驚きを感じたことでしょう。やがて脳のな

C O N T E N T S

音読の勧め 平松哲司 ①
 知って得する！図書館活用術 第3回 ③
 追悼特集 作家・氷室冴子氏の世界 ⑥

図書館委員会からのお知らせ ⑦
 人事異動のお知らせ ⑦
 図書館員のオススメ本 第5回 ⑧

かの言葉と音楽をつかさどる部分は別々のチャンネルに別れて行ったというのは進化心理学の知見の通りだと思います。しかしそもそも言葉と音楽はかつては脳の同じ部分で処理されていたという事実は大書すべきです。脳の部分的役割分担が固定した現在でも、この「声」を使った人間の言葉と音楽という二つの営みが日常的に重なりあっていることは皆さんにも思い当たるのがたくさんあるでしょう。

シェイクスピアの劇は主にBlank Verseという詩形で書かれています。一行に5つのビートがあり、基本的に10音節あるいは11音節からできています。

「ビート」というのは音楽から借りてきた概念で、この場合の「詩」は言葉と音楽が最も近づいた形を指します。これはなにもシェイクスピアだけに、英語だけに限ったことではありません。平安時代の民衆がうたった歌謡集「梁塵秘抄」の「今様」の7・5調の調べも（「あそびをせんと[や]うまれけむ／たわむれせんと[や]うまれけむ／あそぶこどもの・こえきけば／わがみさえこそ・ゆるがるれ」）、現代の歌謡曲やJポップスの歌詞も基本的に4つのビートのバリエーションのリズムにあわせて書かれています。ビートを意識した、つまり歌の歌詞に限らず、一定のリズムを基調とする韻文で書かれている詩の言葉は黙読するだけではその真価を体験することはできません。ぜひとも声に出すことが必要なのです。脳科学的に言っても黙読と音読では脳の活動する場所が違います。もっと正確に言うと、脳細胞（ニューロン）が発火して作るネットワークが黙読の場合は視覚野が中心になるのに対して、音読の場合は視覚野もさることながら、あごや舌や声帯を動かす神経／筋肉システムが活発に活動し、自分の声を聴き脳にフィードバックするという複雑で重層的なニューロンの広範囲に渡る活性化が起こるはずです。

さらに記憶という観点からも音読はお勧めです。むかし「英単語は声に出して覚えろ、スペリングはあとから覚えればいい」とある先生に言われましたが、あれは正しかったと今実感しています。脳の進化の過程で言葉という「音」は当然文字という記号に先立ちました。言語学者は研究の出発点に必ず「音」を置きます。「音」「声」が文字というシンボルに実体を与えるので、その逆はあり得ません。役者がよく言うのですが、いくら脚本をくりかえし精読しても台詞は頭に入りません。いやむしろ「覚えよう」という気持ちが記憶の門を閉ざしてしまうのです。記憶、特に長い時間

にわたって残る「長期記憶」はたくさんの種類のニューロンのネットワークが関わっていればいるほど強いものになります。視覚や文字の喚起するイメージだけでは脳の限られた部分しか記憶を作る作業に関わりません。しかし音読することで視覚だけでなく、聴覚、発声のメカニズムに関わる筋肉や神経系統が同時にフルに活動することで、記憶はより強化され、時間がたっても比較的正確に呼び戻せます。たくさんの機能が全員参加した作業の産物はより構築性が密で、同時に塑性が高く柔軟なのです。だから時間の浸食力にも負けないのです。そして記憶を呼び出す「きっかけ」も多様を持つことができます。頭の知的な部分では覚えていなくても、舌が、耳が覚えているのです。台詞が「はいった」状態になっている役者が言葉につまったら、キュー（cue「きっかけになる言葉」）をささやいてあげるだけで、あとは聴覚／運動筋肉系統の記憶のニューロンが発火して台詞を呼び覚ましてくれるはずなのです。私も音読で覚えたシェイクスピアの台詞は、つまったとき冒頭の数語を言ってもらえればたいてい舌が勝手に動いてくれます。

最後に、音読はとても楽しいのです。誰でも小さかった頃お話を聴くのが大好きだったはず。今はあまり見かけない紙芝居に夢中になった思い出を持っている人も多いと思います。あれは人の「声」があればこそその芸で、独特の節回し、声の抑揚があつてこそ子供たちの注意をそらさぬことができたのです。今度こそ自分の声で物語や詩を、いや新聞のコラムなどでもいいのです、一回声に出して読んでみませんか。読むときはおなかの「みぞおち」の下あたりに意識の中心を置くような感じでやるといいでしょう。腹式呼吸をするときに大事な横隔膜がある場所です。声を出して読み慣れていないと、意識が頭に集まりがちで、始めは不必要な力が肩やのどについ入ってしまいます。でも読み進むうち、そして物語にのめりこむにつれ、筋肉の堅さが徐々にほぐれてゆき、意識の中心がみぞおちあたりに下がって（これはあくまで「感じ」）、自分の声がゆったり、リラックスした状態になり、体全体のシステムが「オープン」になったと感じることでしょう。こうなればしめたもの、あなたは音読のとりこになるかもしれません。



●● 知って得する！図書館活用術 第3回 ●●

—図書館で利用できるCD-ROM及びDVD-ROM—

皆さん、図書館には本や雑誌だけではなく、パソコンを使用して情報や映像・画像などを閲覧できるCD-ROMやDVD-ROMを多数所蔵しているのをご存知でしょうか？今回は、72号に掲載の“雑誌論文の探し方と入手方法&書誌情報の見方”、74号に掲載の“図書館で利用できるオンラインデータベース紹介”に続き、“図書館で利用できるCD-ROM及びDVD-ROM”を所蔵館別に簡単に紹介します。

本館所蔵分



①新編国歌大観/角川書店 CD-ROM 請求記号:i11CR111 [禁帯出]

『新編国歌大観(全10巻)』1162集の歌集本文(約45万首の和歌と漢詩句を収録)と解題を収録したCD-ROMです。検索項目では「句検索」「語彙検索」「歌集・歌番号検索」が用意されているほか、設定できる条件も充実していて、和歌について調べるのにとっても適しています。和歌というと限られた人が利用するイメージですが、詠まれた時代を映す鏡として見ることもできます。和歌から昔の人の恋模様を垣間見て、今も昔も人はあまり変わらないことで悩むのだなあなどと感慨に浸ることができるかも(?)しれません。



②全国方言資料/日本放送出版協会 CD-ROM 請求記号:i11CR131:1-12 [禁帯出]

全国141地区の方言を収録した『全国方言資料(全十一巻)』は、NHKが1952年(昭和27年)より全国各地の方言を録音し、記録する作業に着手し、1972年(昭和47年)に完成しました。このCD-ROMは1981年(昭和56年)に復刊した書籍の全ページの画像データをPDFファイルとして収録したものに、「序・索引編」が追加されています。また、同時に約30時間分の音声も収録されています。似たような話題で会話をしている、当時は地域によって様々な言い回しがありました。皆さんも、昔の人が話していた言葉を聞いてみませんか？



③読賣新聞/読売新聞社メディア企画局データベース部編 雑誌扱いCD-ROM [禁帯出]

年代ごとに順次データベース化されており、現在明治7年から昭和45年の分まで所蔵しています。新聞紙面をそのままデジタルイメージ化しており、新聞をめくっていくような感覚で記事を読むことができます。また、索引では「キーワード」「掲載日」「発行形態(朝刊・夕刊・付録・号外)」「掲載ページ」「写真付き記事(大正・昭和の読賣新聞のみ)」「分類」などの検索項目が用意されており、詳細な検索ができるようになっています。

本学で契約しているオンライン新聞検索データベース「日経テレコン」では、その新聞にもよりますが、主要紙なら遡って20年くらいは検索することができます。それより昔の新聞記事を検索したいときにはこのCD-ROMが便利です。初期の新聞を見てみると、現在とかなり違う文体で書かれていることや、とても頁数が少ないことなどにも驚かされると思います。



④国宝上杉家本洛中洛外図/小学館 CD-ROM 請求記号:i11CR121 [禁帯出]

上杉家本「洛中洛外図」は織田信長が狩野永徳に描かせ、天正年間(一五七三~九二)の初頭に上杉謙信に贈ったものと伝えられています。この「洛中洛外図」というのは京都の市街(洛中)・郊外(洛外)を俯瞰して描いた一つの形式ですが、この上杉家本洛中洛外図はその中でも一際高い評価を受け、国宝にも指定されています。実物は六曲一双の巨大な屏風図ですが、原寸の約二倍まで拡大して細部まで鑑賞することができます。また、屏風の特徴的な絵柄にはほとんどラベルが付けられており、ラベルをクリックすると解説を読むことができます。この屏風図、よく見ると、金色の雲が街中を横切っているのかわかるでしょうか？実はこの雲を描くことにより絵に立体感を出したり、場面の仕切りとしての効果があるようです。



⑤江戸明治東京重ね地図/エーピーカンパニー DVD-ROM 請求記号:e11DR112 [禁帯出]

江戸時代・明治時代の東京の地勢を実測で復元した地図と現代の地図を比較することで、150年の変遷をたどることができます。また、明治期の古写真や版画作品などを計200点収録しているほか、併せて50000件にのぼる検索データを収録し、地図上に配置しています。地図を眺めていれば、行ってみたいと思っている場所もあるかもしれません。そこには150年前まで遡ると何があったのでしょうか？それを知ると、観光する目的も変わるかもしれませんね。



⑥シェイクスピア大全／新潮社 CD-ROM 請求記号:i11CR11100 [禁帯出]

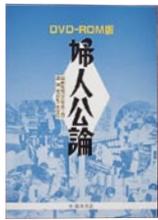
アーデン第2版モダンテキストの全戯曲、詩6篇の他、全戯曲と詩篇の邦訳が収録されています。話の「あらすじ」を見ることができるほか、「キーワード50」ではシェイクスピア作品を読み解くうえで様々な視点を提供してくれます。「シェイクスピアそれが問題だ50」ではQ&A形式でシェイクスピアという人物について知識を深めることができます。また、原文を見ながら複数の訳文を比較するという使い方もできます。「オーディオドラマ『ハムレット』」では、ハムレットを音声で聴きつつ、テキストを目で追うというコンテンツもあります。シェイクスピアについて研究するなら盛りだくさんの情報が詰まっていますので、是非ご利用ください。



⑦短編小説クイックレファレンス:デスクで調べるCD/日外アソシエーツ CD-ROM 請求記号:i11CR1127 [禁帯出]

日外アソシエーツ社が2001年に発行した書籍「短編小説12万作品名目録」の増補改訂版です。1986～2005年に出版された図書に掲載された短編小説作品が一覧できます。連作ミステリ・ショートショート・アンソロジー・文学賞傑作選…などなど、収録作品はのべ18万点、収載図書は2万2千点です。

検索の仕方も様々で、作品名、著者名、書誌事項、また本文全体を対象として検索することもできます。お気に入りの作家がどんな短編小説を今までに書いているか調べてみる、なんていう利用方法もありますよ。



⑧婦人公論／臨川書店 雑誌扱いDVD-ROM (現時点で創刊号より昭和19年3月発行の号まで) [禁帯出]

婦人公論は、「原始女性は太陽であった」の言葉で知られる平塚らいてうが女性の解放と自我の確立を唱えたこと、またそれを求める時代の機運が高まっていたことなどを受けて1916年に創刊された雑誌で、2006年1月に創刊90周年を迎え、今なお続いている歴史のある雑誌です。創刊当時の女性の立場は男性と同等と言えるには程遠いものでした。そのような中「自由主義の旗印」のもと、「女権拡張を主張」をコンセプトとして創刊された婦人公論の果たした役割は大きかったようです。(※雑誌そのものも1962年の号からは本学に所蔵があります。)

花川館所蔵分



①手話学習辞典/レイシスソフトウェアサービス CD-ROM 請求記号:i11CR1142:1-7 [禁帯出]

これから手話を覚えようとしている人必見。見る言葉である手話を学ぶためには、その表現の強弱により意味も異なります。手話単語例文約3000文の動画を収録し、50音索引による検索・会話の種類に応じた検索・指文字などの、本格的な手話の辞典として利用できます。調べやすく、使いやすいCD-ROMになっています。



②パクパク食育イラストCD-ROM&資料集/東山書房 CD-ROM 請求記号:i11CR1117-118 [貸出可]

食育素材集のカラーイラストやポスターなどの掲示物に使えるものが充実しています。食育指導のマニュアルになる「食育指導者用指導案」がついていて、学年やテーマに分けて紹介しています。指導の手順や板書のポイントなど、実習など活用できるアイデア満載のCD-ROMです。



③福祉・介護・施設のためのいきいきイラスト集/久美 図書付属CD-ROM 請求記号:3691163 [貸出可]

福祉・保健・介護の関係施設で広報や研修などの文章・資料・教材作成などに携わる方々を対象に、日頃の業務によく使われるモチーフに合わせた明るく、爽やか、見て楽しい基調のイラストとなっています。福祉や介護施設などの実習資料作成にいかがでしょうか。



④食育のイラスト 1 子どもの食生活/MPC 図書付属CD-ROM 請求記号:498.511Sh96111 [貸出可]

「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的な生活習慣が健やかな児童を育む、をテーマにしています。子どもの1日の食生活を追いながら、朝ごはんの大切さ、朝ごはんを抜くことの問題点や、朝ごはんを家族みんなで食べることの重要性などをわかりやすく教えるイラストを中心に、子どもの料理や一家団らの食事風景などが充実しています。人間の生活は正しい食生活から、ということを伝えるための資料作成に最適です。



- ⑥食育のイラスト 2給食と栄養/MPC 図書付属CD-ROM 請求記号:498.5||Sh96||2【貸出可】
学校給食を通して食の基本を学べるイラストを中心に収録されています。元気に働く給食当番、給食・お弁当の楽しい食事風景、給食を作る調理師さんや栄養士さんや、食材を作ってください方々への感謝の気持ち、子どもの成長に必要な栄養素や食品群の紹介など実用的なイラストがたくさんあります。「正しく」食べることを伝えるイラスト給食の風景や、元気に食べる子どもの姿のカットは、文字や言葉で伝えられない情報を伝えることができます。



- ⑥園&学校で使えるイラスト・カット集/PHP研究所 図書付属CD-ROM 請求記号:727||P17【貸出可】
幼稚園・保育園の学校行事で使える、可愛いオールカラーのイラストを収録しています。園便り、学校通信、PTA便り、はがき、カードなどの作成に最適なイラストが収録されています。内容は「お誕生会」「行事」「運動会」「あそび」「生活」「季節のイメージ」「マーク」といった7項目。幼稚園、保育園、学校関係者のみならず子どもたちなどにも気軽に使えるCD-ROMです。



- ⑦なるほど環境ディクショナリー/環境再生保全機構予防事業部事業課 図書付属CD-ROM 請求記号:519||N53【貸出可】
世界の条約の流れや環境法全般がフルカラーで分かり易く紹介されており。付属のCD-ROMでは、この本の内容についてどれだけ理解できたかをクイズ形式によって復習することができます。わたしたちが暮らす地球の環境に今起きている数々の問題についてキーワードごとにやさしく解説しています。イラストなどでわかりやすく書かれており、環境問題を調べるのに参考になります。



- ⑧暮らしに役立つイラストカット集:年中行事編/PHP研究所 図書付属CD-ROM 請求記号:727||P17【貸出可】
1月から12月までの日本の行事、慣習の可愛いイラスト・カットがたくさんあります。数は多くありませんが、名作絵本(3匹の子豚、赤ずきんとオオカミ、浦島太郎、桃太郎など)からのイラスト、恐竜、十二支、星座もあります。文字などにも工夫もあり特にイラストは、学校、学校通信、幼稚園、子供関係の会報、園だより作成に最適です。



- ⑨パターン配色帖:色と柄の組み合わせ950例/ピエ・ブックス 図書付属CD-ROM 請求記号:757||A46【貸出可】
色と柄を組み合わせてイメージをつかめる! トレンディ、ポップ、和風など6つのイメージにマッチした色と柄を紹介、その組み合わせは950例にもなります。75種の柄を収録した付属のCD-ROMは255色から自由に色を選び置き換え、配色を吟味できます。



- ⑩ハンドメイドポップアップの本/情報センター出版局 図書付属CD-ROM 請求記号:754||H71【貸出可】
お気に入りの紙を使って、ポップアップを作ろう。メリーゴーランド、馬車、ヴァイオリンなど開くと立体が飛び出すポップアップの作品を、物語を添えて掲載。作り方をはじめ、紙や道具、基本テクニックなども解説しています。ロマンティックな作品が満載で子どもたちも喜びそうです。飾りものとして、メッセージを添えて大切な人への贈り物などにも最適です。

※資料の中で「貸出可」となっているものは館外貸出ができます。また、本館・花川館の間で取り寄せをすることもできます。著作権処理がされていないために持ち出し不可になっている資料は「禁帯出」と表記しています。利用を希望される方は所蔵館のカウンター係員に閲覧をお申し込みの上、館内で利用してください。

いかがでしたか?少しはCD-ROMやDVD-ROMを身近に感じていただけただいしょうか。今回の特集で紹介した以外にも、図書館には様々な分野のCD-ROMやDVD-ROMがありますので、勉強や課題などに役立ててくださいね。

追悼特集

作家・氷室冴子氏の世界

去る6月、本学出身の作家である氷室冴子氏（昭和54年大学国文卒）が肺がんのため亡くなりました。51歳の若さでした。氷室氏は1980年～1990年頃に若い女性を中心に流行した「コバルト文庫」の看板作家で、学生の皆さんよりも少し上の世代（ひょっとしたらお母さんがご存じかもしれません）で一大大ブームを巻き起こしました。本館では7月から追悼の展示を企画・開催しましたが、今回は図書館だよりの場を借りて、展示では紹介できなかった本も含め、本学図書館所蔵の著作を出版年順にご紹介します。まだ読んでいない方がいらしたら、是非この機会に先輩が生み出した魅力的なお話を読んでみてください。



シンデレラ迷宮 1983年

本館・花川館ともに所蔵

請求記号：913.611H59

目が覚めると、利根という女の子は見知らぬ世界に来ていました。そこで利根はどこかで会ったことのあるような女性たちと出会いますが…。思春期の少女の微妙な心の揺れを描いた作品です。



いもうと物語 1991年

本館所蔵 請求記号：913.611H59

氷室氏が岩見沢で過ごした幼少時代の体験が元になっていると言われている、北海道らしいエピソード満載の短編集です。多少時代は違いますが、読んでいると子供の頃を思い出して懐かしい気持ちになれると思います。



ざ・ちえんじ! (前・後編) 1983年

請求記号：913.611H5911-2

高校生の頃平安文学にはまったという作者。中でも、ひとあじ違う平安文学を、と探して見つけたのが『讃岐典侍日記（さぬきのすけのにつき）』と『とりかへばや物語』だとか。この作品はとりかへばや物語がモデルになっています。若君として育った女の子、姫君として育った男の子が次々と騒動を巻き起こすお話です。



いっばしの女 1992年

本館所蔵 請求記号：914.611H59

「冴子の東京物語」「プレイバックへようこそ」「委員物語」に続くエッセイ集です。三十歳を過ぎた著者が、日頃考えていること、怒ったこと、喜んだこと、回想したこと…などを書き連ねています。小説とはまた違う味（毒？）があって、こちら面白いと思いますよ。



なんて素敵にジャパネスク シリーズ(全8巻) 1984年～

本館所蔵 請求記号：913.611H5911-8

ジャパネスク・アンコール!(全2巻)

本館所蔵 請求記号：913.611H59, 913.611H59:1

こちらも平安時代が舞台で、由緒正しき家柄なのに16歳にもなって婿が決まらない、ちょっと風変わりだけどひたむきな瑠璃姫が主人公の小説です。姫君らしく家の中にじっとしていることもなく、方々飛び回っては大冒険を繰り返します。この作品が氷室氏の代表作と言っても過言ではないと思います。



海がきこえる 1993年～

本館所蔵 請求記号：913.611H5911-2

大学進学で上京してきた拓は、里伽子という女の子の写真を見ているうちに、高校生活での出来事について回想を始めるのです。氷室氏はこの頃小説執筆に行き詰っていたようですが、この小説の執筆を通して作家として変わっていくものがあつたそうです。続編も本館に所蔵しています。



北里マドンナ 1988年

花川館所蔵 請求記号：913.611H59

「なぎさボーイ」「多恵子ガール」という本の兄弟編です。連作なので、兄弟編に出ている登場人物がこちらでも出てきますが、この一冊だけでも読めます。何の不自由なく育ってきた北里という男の子が、自分のことを見つめなおし、葛藤しながらも成長していく物語です。



氷室冴子読本 1993年

本館所蔵 請求記号：913.611H59

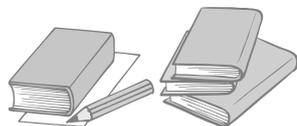
この一冊で氷室冴子氏の全てがわかる!?…とまではいかないですが、書き下ろし短篇が収録されていたり、トークショーの様子が載っていたりと、これから氷室冴子氏を知ろうとしている人、また既に知っている人にも充実した内容になっています。



ホンの幸せ 1995年

本館所蔵 請求記号：914.611H59

様々な雑誌に掲載されたエッセイや文庫の解説をまとめたもので、扱っているジャンルも漫画から大衆文学、そして評論まで様々です。著者自身の生活体験なども織り交ぜつつ語られる内容からは、本と楽しく付き合っている様子がわかります。



図書館委員会からのお知らせ

・2008年度図書館委員

図書館長

須永 進 (人間生活学部保育学科)

委員・文学部

平松 哲司 (英語文化学科)

菅本 康之 (日本語・日本文学科)

杉内 峰彦 (文化総合学科)

委員・人間生活学部

小沼 春日 (人間生活学科)

知地 英征 (食物栄養学科)

高橋真由美 (保育学科)

・2008年度図書館委員会が実行すべき課題

- 1) 本館・花川館の格差是正について具体的検討を継続
- 2) 花川館のスペース拡大について検討を継続
- 3) 新図書館建設構想に向け図書館中期5ヶ年計画の策定
- 4) 研究支援活動として、学術研究コンテンツの整備を促進
 - ・電子ジャーナルの利用促進及び契約誌の見直し
- 5) 学習・教育支援活動として、基本図書の整備・充実
 - ・シラバス掲載図書、講義関連図書等を中心に取組みを強める
 - ・利用者教育の促進
- 6) 時間外開館延長の検討を継続



人事異動のお知らせ

渡部 寛子 (花川館情報サービス係→目録情報係)
 石井 聖乃 (本館情報サービス係) (2008年4月1日付採用)
 南山 有理 (花川館情報サービス係) (2008年4月1日付採用)

図書館員の オススメ本 ～第5回～

写

今年の夏も局地的なゲリラ豪雨・洪水など地球温暖化の影響と思われるような災害がありました。地球環境についての書籍はたくさんありますが、その現実を直感的に理解できるのが写真集です。そこで、今回は図書館で所蔵するたくさんの写真集の中から、地球環境に関するものを紹介します。高価なものが多い写真集。そんな本だからこそ、図書館でご覧になってみてはいかがでしょうか？

美

かけがえのない美しい地球。
まずは、空から見た地球のいろいろな表情を見てみましょう。

空から見るさまざまな場所の風景が、365日分、その場所が抱える問題などのエッセイと共に紹介されています。地球の美しさに感動すると同時に、この地球を大切に守って行かなくてはならないと考えさせられる一冊です。



**366日空の旅：
かけがえのない地球**
／ヤン・アルトゥス＝ベルトラン[写真];クリスチャン・バルム[ほか]著

本館所蔵
請求記号：290||A79



5年以上の歳月をかけて、60カ国を超える国を飛び回り、後世に残したい地球環境の記録を目的とした写真集です。170点以上の写真に加え、その地域について、自然科学・社会科学の専門家が解説を加えています。とにかく迫力ある写真が満載です。

空から見た地球：21世紀への遺産
／ヤン・アルテュベルトラン著

本館所蔵 地下書庫大型架
請求記号：290||A79

激

激変する「地球環境」。地球温暖化や気温の変化など、人間は地球にどれほど深刻な影響を与えてきたのか。過去と現在の2枚1組の写真で対比。そのわずかな時間の間に起こった衝撃的な変化に驚きの真実があります。地球の悲鳴が聞こえてきます。



写真が語る地球激変／フレッド・ピアス[編]著
花川館所蔵 請求記号：209.6||P31

島

ダーウィンの進化論を生んだ島・ガラパゴス諸島。その島は、世界自然遺産登録第一号でした。1978年に世界自然遺産に指定されて以来、多数の観光客が訪れるようになり、人口も急増。持ち込まれたゴミや外来生物が動植物の生息環境を脅かしています。散乱するゴミの上で日光浴するイグアナの目は悲しそうです。この写真集には、環境問題解決のための、心からのメッセージがあります。



ガラパゴスがこわれる
／藤原幸一写真文

花川館所蔵
請求記号：462||F68

／編／集／後／記／

今回、巻頭言に平松先生より「音読」に関する記事をご寄稿いただきました。秋と言えば読書ですが、今秋は少し趣向を変えて気になる作品を声に出して読んでみたいとなりました。先生にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

ところで、少し前の話題になりますが、7月にサミット主要国首脳会議が北海道洞爺湖町で開催されましたね。食料問題や環境問題などが会議の議題となり、それをきっかけに色々なことを考えられた方も多いのではないかと思います。編集委員も今できることを始めようと、遅ればせながら『エコバッグ』を買ってみました。(しかし、買物に行く時に忘れてしまうことが多々…)エコも、身近なところから習慣になるようにいろいろと工夫していけたらいいなと思います。

藤女子大学 図書館だより 第76号 2008.10

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770

<http://library.fujijoshi.ac.jp/>